

# 県政報告

～「現地現物」そして「安全はすべてに優先」～

## 一般質問と議案質疑

春の日差しも心地よく感じる今日この頃です。皆様方にはお元気にお過ごしのことと思います。

3月3日の県議会2月定例会において、一般質問と議案質疑をしました。「安全はすべてに優先」というモットーに合わせ、一般質問では「駅周辺のまちづくりと河川の整備」・「医療施設の道路」・「県立学校の立地」・「交通の安全対策」について取り上げ、また議案質疑では「農業用ため池の安全対策」について質問しました。



愛知県議会議員  
新海 正春

### 一般質問

#### 1、岡崎駅周辺のまちづくりと河川の整備について

（質問）周辺道路の整備、病院や商業施設へのアクセスインフラの整備を早急に進め、同時に河川の整備を岡崎市と連携し早急に進めていただきたい。

（回答）岡崎駅南周辺道路

- ・東西（井内新村線、若松線）⇒整備にかかる交付金の必要額が確保できるよう、国に働きかける。
- ・南北（県道福岡線）⇒区域内における整備費を組合に補助する。
- ・病院や商業施設へのアクセス⇒円滑に進むように県が適切に補助する。
- ・河川の整備  
岡崎市の床上事業完成  
（砂川・占部川+伊賀川・鹿乗川）  
広田川（県の管轄）一部⇒県と市が連携して、川幅の狭い箇所を順次整備する。

#### 2、土砂災害警戒地区にある学校について

（質問）岡崎特別支援学校など、4県立高校が土砂災害防止法に基づく「特別警戒区域」や「警戒区域」に立地しているが、子どもたちの安全確保のため、移転を含めて今後どうするのか。

（回答）災害を防ぐため、擁壁の設置やモルタルの吹き付けを必要に応じて施し、職員の日常点検や専門家の定期点検で安全を確認している。移転については、児童数の推移も考慮しつつ、安全確保が図られるようにする。



（平成28年3月4日中日新聞に掲載されました。）

#### 3、交通事故抑制対策について

（質問）愛知県は「13年連続交通死亡事故ワースト1」、特に、岡崎市を含む三河地区は高齢者の事故が多発している。警察などによる事故の分析や発生予測など、ハインリッヒの法則やビックデータの活用により、事故の起きにくい環境を作り、愛知県方式と呼べるものを作っていただきたい。

（回答）「ゾーン30整備」の現状説明

愛知県では平成28年までに215か所で実施予定、現在は173か所完了。来年度までに完了予定。

「ゾーン30」とは……自動車事故抑止のため、市街地の住宅街など生活道路が密集する地域を指定し、その区域での車最高速度を時速30キロに制限する交通規制。

### 議案質疑

#### 土地改良施設耐震対策事業「農業用ため池の耐震対策」について

（質問）東日本大震災から5年、本県の農業用ため池における耐震診断、耐震整備、ハザードマップの作成を進めると聞いている。その進捗はどうか。

（回答）決壊した場合に、下流の人家等に大きな被害が生じる危険性があるため池のうち、耐震性の確定が未了となっているため池について、耐震診断を実施、老朽化が著しいものや耐震性が不足しているものについて、耐震化等の整備を推進する。

「ため池ハザードマップの進捗状況」につきましては、岡崎市のホームページにてご覧になれます。



# 愛知県 平成28年度 一般会計当初予算 2兆5249億円

平成28年度当初予算は、モノづくりをはじめ、日本一の「産業力」をさらに強くすることで、働く場をつくり、人を呼び込み、新たな産業・雇用を生む好循環を継続・加速させていく。

そして、若者・女性・子ども・高齢者・障害者・外国人など、「すべての人が輝き、すべての人が活躍する愛知をつくる」という思いをもって、「12の柱」を重点に当初予算を組んだ。

歳入	(単位：億円)
県税	12,480
地方交付税	700
県債	2,156
その他	9,914
計	25,250

県税収入が増加する一方で、臨時財政対策債が減少したため、平成27年度と同程度の額となる。

## 予算編成「12の柱」

- |           |               |
|-----------|---------------|
| ①中京大都市圏   | ⑦文化・スポーツ・魅力発信 |
| ②産業首都あいち  | ⑧グローバル展開      |
| ③農林水産業の振興 | ⑨安全・安心        |
| ④人財力の強化   | ⑩「環境首都あいち」の確立 |
| ⑤医療・福祉    | ⑪東三河の振興       |
| ⑥観光あいちの推進 | ⑫地方分権・行政改革の推進 |

歳出	(単位：億円)
人件費	6,951
扶助金	2,582
公債費	3,757
投資的経費	2,596
税交付金等	4,555
その他	4,809
計	25,250

人件費は平成27年度とほぼ同額、扶助費は後期高齢者医療費負担金等の伸びにより確実な増加、公債費は積立金増加により高止まり傾向、投資的経費は大規模事業の終了により減少。

## 活動報告 将来を見据え、現実を直視し、地道に取り組んでいきます

### 視察しました



セントレア空港インターン生合同研修会



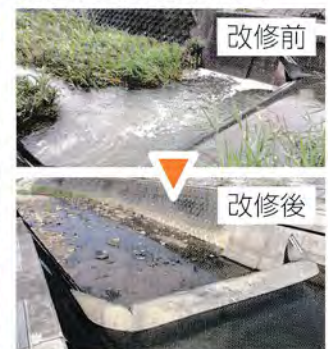
三菱MRJ工場視察

### 完成しました

#### 矢作地区の道路表示改修



#### 須美川(幸田町)のゴム堰周辺の浚渫改修が完了



## 新年交礼会

平成28年1月11日(祝日) 竜美丘会館

大村知事、内田市長、青山周平衆議院議員、藤川県連会長、片山参議院議員、市議会議員の来賓の方々をはじめ、700名を超える多くの皆様方のご出席をいただき、親睦と意見交換ができました。



### しんかい正春 県政報告「'16 陽春号」

(お問合せ先) 〒444-0837 岡崎市柱6丁目5番地5

TEL/FAX: 0564-58-0128

発行日: 平成28年4月22日

発行: しんかい正春事務所

発行責任者: 新海 正春

(開所日時) 月・水・土 9:00~17:00 ※火・木・金 随時(電話にてご確認下さい)

(本人在所) 平日: 18:30~20:00 ただし、会議等も多いため、事前確認をお願いします。

日祭日: 事務所が開いている時には、気軽にお立ち寄り下さい。